

# 東北大学病院 地域医療連携センター通信「with」 2014年4月25日 vol.29 ※転載許可取得済み



中央診療施設等紹介

## 「循環器センター」

Facility

当院の循環器診療の特徴は、循環器内科と心臓血管外科の連携のもと、虚血性心臓病・心不全・不整脈・肺高血圧症・心筋症・大動脈疾患など、幅広い循環器疾患に対して最新の高度医療を提供していることです。特に、心臓と肺の両方の臓器移植が認定されている全国の3医療機関の1つであり、広く東日本各地から多くの重症心不全や肺高血圧症の患者さんが紹介されてきます。また、人口の高齢化に伴い、慢性腎臓病や閉塞性動脈硬化症などを合併し、より高度の集学的治療を必要とする心臓病患者さんの割合が年々増加しています。こうした背景を受け、さらに高いレベルの循環器医療を提供するため、2012年7月に「東北大学病院循環器センター」が開設されました。

初代センター長に下川 宏明循環器内科科長、副センター長に齋木 佳克心臓血管外科科長が就任し、良質な循

環器チーム医療を提供しています。特に、心臓移植や植込み型補助人工心臓装着に関しては、適応決定から実施までの治療方針の一本化と迅速化が図られています。また、近日中に両診療科が一体となってハートチームとして共同で治療を行う経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)も開始されます。「循環器センター」では重症度に応じて集中治療部・CCU・一般病床と3段階の病床を有効活用し、急性期治療から社会復帰に必要なリハビリテーションまで、切れ目ない診療が可能となっています。また、「循環器センター」は、低出力体外衝撃波を用いた非侵襲性血管新生治療や肺高血圧症に対する分子標的治療の開発、吸収性新素材を用いた新しい心膜癒着防止材の開発、極細径光ファイバ圧センサの開発など、基礎研究の成果を臨床に応用するいわゆるトランスレーショナルリサーチ(橋渡

し研究)の実践の場となっており、我が国の医療に大きく貢献する人材育成の役割も担っています。

